

# 古文ドリル：「けれ」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「けれ」の正体（3種類＋例外）

古文の「けれ」は、見た目が同じでも正体が異なり、識別でつまづきやすい語です。基本は **3種類**、これに **まれな例外** が1つ加わります。

種類	直前の形	意味	例
① 過去の助動詞「けり」の已然形	連用形（イ段など）+けれ	過去・詠嘆	鳴き <b>けれ</b> ど
② 形容詞の已然形	形容詞の語幹+けれ	（意味を持たない）	をかし <b>けれ</b>
③ 助動詞の一部	べ・まじ・まほし・たし+けれ	（単独では意味なし）	ある <b>べけれ</b>
④ 【例外】四段已然形+完了「り」	カ行四段の已然形（エ段）+れ	完了・存続	咲 <b>けれ</b> ど

### 識別の鉄則（直前の一字を見る）

- 直前がイ段の連用形 → 過去の助動詞「けり」の已然形（鳴き・聞こえ・多かり…）
- 直前が形容詞の語幹（～し・～くの仲間） → 形容詞の已然形（をかし・高・うれし…）
- 直前が「べ・まじ・まほし・たし」 → 助動詞の一部（べけれ・まじけれ…）
- 直前がカ行四段のエ段（已然形） → 例外＝已然形+完了「り」（咲け・聞け…）

「けり」は連用形に、例外の「り」は已然形（エ段）につく——直前がイ段かエ段かが最大の決め手です。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① 「けれ」の直前の一字を見る

- イ段（き・し・ひ・り…の連用形）+けれ → 過去「けり」已然形
- エ段（け・げ…のカ四已然形）+れ → 例外（已然+完了り）
- 「咲き**けれ**」＝連用形+けり、「咲**けれ**」＝已然形+り。一字違いに注意。

## コツ② 形容詞の形なら「けり」ではない

- ・「をかし／高し／うれし」など形容詞の已然形は **～けれ**（をかしけれ・高けれ）。
- ・ **過去・詠嘆の意味は持たない**。係り結び「こそ…けれ」の結びや、「～けれど」の形で出る。
- ・「**多かりけれ**（過去）」と「**多けれ**（形容詞）」の違いに注意。

## コツ③ 上が「べ・まじ・まほし・たし」なら丸ごと助動詞

- ・「あるべけれ」「言ふまじけれ」「見まほしけれ」「行きたしけれ」。
- ・「けれ」だけを過去の助動詞として切り出してはいけない。

## よくある引っかけ

- ・「聞き**けれど**」（A・連用+けり）と「聞**けれど**」（D・カ四已然+り）。直前がイ段かエ段か。
- ・「多かり**けれ**」は形容詞+過去「けり」（A）。形容詞已然形「多けれ」（B）と混同しない。
- ・係り結び「こそ…をかし**けれ**」は形容詞已然形（B）。「～だった」と訳す必要はない。

## 採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- ・ 基礎（Q1～Q20）： /20
- ・ 標準（Q21～Q50）： /30
- ・ 応用（Q51～Q80）： /30
- ・ 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- ・ 合計： /100

## 【第1部】基礎編（Q1～Q20）

連用形+「けり」（過去）、形容詞の已然形、助動詞の一部を、純粋な形で識別する基本問題。

### Q1. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

鳥こそ鳴き**けれ**。

**答え**：過去の助動詞「けり」の已然形 **解説**：直前「鳴き」は四段動詞「鳴く」の連用形（イ段）。連用形+ければ過去「けり」の已然形。係助詞「こそ」の結び。「鳴いたなあ」。

## Q2. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

月こそをかし**けれ**。

**答え**：形容詞の已然形 **解説**：「をかし」はシク活用形容詞。その已然形「をかしけれ」で、係助詞「こそ」の結び。過去・詠嘆の意味はない。

---

## Q3. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

そのこと、あるべ**けれど**。

**答え**：助動詞の一部 **解説**：「べけれ」は推量の助動詞「べし」の已然形。くれだけを過去とは取れない。「あるはずだが」。

---

## Q4. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

人こそ多かり**けれ**。

**答え**：過去の助動詞「けり」の已然形 **解説**：「多かり」は形容詞「多し」のかり活用連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「多かったなあ」。形容詞已然形「多けれ」と区別。

---

## Q5. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

山は高**けれど**、道あり。

**答え**：形容詞の已然形 **解説**：「高し」（ク活用形容詞）の已然形「高けれ」。けれは活用語尾で、過去の意味はない。「高いけれど」。

---

## Q6. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

文を書き**ければ**、返りごとあり。

**答え**：過去の助動詞「けり」の已然形 **解説**：「書き」は四段「書く」の連用形。連用形+ければ過去「けり」の已然形。已然形+ば（順接）。「書いたところ」。

---

## Q7. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

見まほし**けれど**、え見ず。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まほしけれ」は希望の助動詞「まほし」の已然形。「見たいけれど」。  
くれを切り出さない。

---

**Q8. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

花はうれし**けれ**ど。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「うれし」（シク活用形容詞）の已然形「うれしけれ」。けれは活用語尾。意味は持たない。

---

**Q9. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

鶯こそ聞こえ**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「聞こえ」は下二段「聞こゆ」の連用形（エ段だが連用形）。連用形+けれで過去「けり」已然形。「こそ」の結び。

---

**Q10. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

言ふまじ**けれ**ど。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まじけれ」は打消推量の助動詞「まじ」の已然形。「言うべきでないが」。けれは助動詞の一部。

---

**Q11. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

人こそ思ひ**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「思ひ」は四段「思ふ」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「こそ」の結び。「思ったなあ」。

---

**Q12. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

道は近**けれ**ど、暗し。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「近し」（ク活用形容詞）の已然形「近けれ」。けれは活用語尾で過去の意味はない。

---

**Q13. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

行くべ**けれ**ば、出で立つ。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「べけれ」は「べし」の已然形。已然形+ば。「行くべきなので」。けれは助動詞の一部。

---

**Q14. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

雨こそ降り**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「降り」は四段「降る」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「こそ」の結び。「降ったなあ」。

---

**Q15. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

心こそ悲し**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「悲し」（シク活用形容詞）の已然形「悲しけれ」。「こそ」の結びで、けれは活用語尾。意味は持たない。

---

**Q16. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

帰りたし**けれ**ど、道遠し。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「たしけれ」は希望の助動詞「たし」の已然形。「帰りたいが」。けれは助動詞の一部。

---

**Q17. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

鐘の音聞き**けれ**ど。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「聞き」は四段「聞く」の連用形（イ段）。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「聞いたが」。

---

**Q18. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

水こそ無**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「無し」（ク活用形容詞）の已然形「無けれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾で過去の意味はない。

---

**Q19. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

都へ上り**ければ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「上り」は四段「上る」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。已然形+ば。「上ったところ」。

---

**Q20. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

罪あるまじ**けれど**。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まじけれ」は「まじ」の已然形。「罪はないだろうが」。けれは助動詞の一部。

---

## 【第2部】 標準編 (Q21～Q50)

---

係り結び「こそ…けれ」、「～にけれ」、形容詞+過去「けり」など、頻出パターンを広く確認する。

---

**Q21. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

花散りに**ければ**、春も暮れぬ。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「に」は完了「ぬ」の連用形、その下の「けれ」は過去「けり」の已然形。「散ってしまったので」。

---

**Q22. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

風こそ涼し**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「涼し」（シク活用形容詞）の已然形「涼しけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾。

---

**Q23. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

今こそ言ふべ**けれ**。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「べけれ」は「べし」の已然形。係助詞「こそ」の結び。「今こそ言うべきだ」。けれは助動詞の一部。

---

**Q24. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

いとあはれにこそ思はれ**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「思はれ」は「思はる」（自発）の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「しみじみと思われたなあ」。

---

**Q25. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

夜こそ恋し**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「恋し」（シク活用形容詞）の已然形「恋しけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾で意味を持たない。

---

**Q26. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

麗しかり**ければ**、人皆めでき。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「麗しかり」は形容詞「麗し」のかり活用連用形。連用形+ければで過去「けり」已然形。「美しかったので」。

---

**Q27. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

行かまほし**けれど**、暇なし。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まほしけれ」は「まほし」の已然形。「行きたいが」。けれは助動詞の一部。

---

**Q28. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

鳥の音こそ寂し**けれ**。

答え：形容詞の已然形 解説：「寂し」（シク活用形容詞）の已然形「寂しけれ」。「こそ」の結び。

---

**Q29. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

文を奉り**けれ**ど、返りごとなし。

答え：過去の助動詞「けり」の已然形 解説：「奉り」は四段「奉る」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「差し上げたが」。

---

**Q30. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

罪こそ深かる**べけれ**。

答え：助動詞の一部 解説：「べけれ」は「べし」の已然形。「深かる」（形容詞連体）+べし。「罪深いに違いない」。けれは助動詞の一部。

---

**Q31. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

山里こそ住み憂**けれ**。

答え：形容詞の已然形 解説：「憂し」（ク活用形容詞）の已然形「憂けれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾で過去の意味はない。

---

**Q32. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

雪降り積もり**ければ**。

答え：過去の助動詞「けり」の已然形 解説：「積もり」は四段「積もる」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。已然形+ば。「降り積もったので」。

---

**Q33. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

言ふも愚かなる**べけれ**ど。

答え：助動詞の一部 解説：「べけれ」は「べし」の已然形。「言うのも愚かなはずだが」。けれは助動詞の一部。

---

**Q34. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

花こそ匂ひ**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「匂ひ」は四段「匂ふ」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「こそ」の結び。「色美しく咲いたなあ」。

---

**Q35. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

道のほど遠**ければ**、日暮れぬ。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「遠し」(ク活用形容詞)の已然形「遠けれ」。已然形+ば。「遠いので」。ければは活用語尾。

---

**Q36. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

え避らまじ**ければ**。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まじけれ」は「まじ」の已然形。「避けられそうにないので」。ければは助動詞の一部。

---

**Q37. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

いみじう泣き**けれど**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「泣き」は四段「泣く」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「ひどく泣いたが」。

---

**Q38. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

世こそ定めな**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「無し」(ク活用形容詞)の已然形「なけれ」。「定めなし」の已然形。「こそ」の結び。ければは活用語尾。

---

**Q39. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

帰り給ひ**ければ**、人々喜ぶ。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「給ひ」は尊敬「給ふ」（四段）の連用形。連用形+け  
れで過去「けり」の已然形。「お帰りになったので」。

---

**Q40. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

命惜しかまほし**けれ**ど。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まほしけれ」は「まほし」の已然形。「命が惜しくあってほしいが」。け  
れは助動詞の一部。

---

**Q41. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

庭こそ広**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「広し」（ク活用形容詞）の已然形「広けれ」。「こそ」の結び。けれは  
活用語尾で過去の意味はない。

---

**Q42. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

雁鳴き渡り**けれ**ば。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「渡り」は四段「渡る」の連用形。連用形+け  
れで過去「けり」の已然形。「鳴いて渡ったので」。

---

**Q43. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

立ち去るべ**けれ**ど、名残惜し。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「べけれ」は「べし」の已然形。「立ち去るべきだが」。けれは助動詞の  
一部。

---

**Q44. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

雲こそ怪し**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「怪し（あやし）」（シク活用形容詞）の已然形「あやしけれ」。「こそ」  
の結び。けれは活用語尾。

---

**Q45. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

御文賜はり**けれ**ば。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「賜はり」は四段「賜はる」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「いただいたので」。

---

**Q46. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

知らせ**まほしけれ**ど、便りなし。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まほしけれ」は「まほし」の已然形。「知らせたいが」。けれは助動詞の一部。

---

**Q47. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

水の音こそ**清けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「清し（きよし）」(ク活用形容詞)の已然形「清けれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾。

---

**Q48. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

もの思ひに**沈みけれ**ど。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「沈み」は四段「沈む」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「沈んでいたが」。

---

**Q49. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

いと心苦しかる**べけれ**ど。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「べけれ」は「べし」の已然形。「心苦しいに違いないが」。けれは助動詞の一部で、過去ではない。

---

**Q50. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

花こそ**咲きけれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「咲き」は四段「咲く」の連用形（イ段）。連用形+けれど過去「けり」の已然形。「咲いたなあ」。次のQ51「咲けれ」と直前一字を比べよ。

## 【第3部】 応用編（Q51～Q80）

ここから **例外（カ行四段の已然形+完了「り」）** が登場。直前がイ段（連用形）かエ段（已然形）かを厳密に見分ける。

**Q51. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

花咲**けれ**ど、なほ寒し。

**答え：**（例外）四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「咲け」は四段「咲く」の已然形（エ段）、「れ」は完了「り」の已然形。「咲いたけれども」。過去「けり」（Q50「咲きけれ」）とは別物。

**Q52. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

鐘の音聞**けれ**ど、人来ず。

**答え：**（例外）四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「聞け」は四段「聞く」の已然形（エ段）、「れ」は完了「り」の已然形。「聞こえているが」。連用形+けり「聞きけれ」と区別。

**Q53. 次の傍線部「ければ」を識別せよ。**

鶯鳴き初め**ければ**、春を知る。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「鳴き初め」は複合動詞「鳴き初む」の連用形。連用形+けれど過去「けり」の已然形。「鳴き始めたので」。

**Q54. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

草木鳴**けれ**ど、人語らず。

**答え：**（例外）四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「鳴け」は四段「鳴く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「鳴っているけれど」。直前がエ段。

**Q55. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

月こそ明か**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「明かし（あかし）」（ク活用形容詞）の已然形「明かけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾で過去の意味はない。

---

**Q56. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

都に着**ければ**、人々出で迎ふ。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「着け」は四段「着く（到着）」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「到着したので」。連用形「着きけれ」と区別。

---

**Q57. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

よろづのことこそあはれに思ひ知られ**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「知られ」は「知らる」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「しみじみと思い知られたなあ」。

---

**Q58. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

花の香こそなつかし**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「なつかし」（シク活用形容詞）の已然形「なつかしけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾。

---

**Q59. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

道を急**けれど**、日は暮れぬ。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「急け」は四段「急く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「急いでいるけれど」。直前がエ段。

---

**Q60. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

御心ざしの深かり**ければ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「深かり」は形容詞「深し」のかり活用連用形。連用形+けれど過去「けり」の已然形。「深かったので」。形容詞已然形「深けれ」と区別。

---

**Q61. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

この世にあるまじ**けれ**ど。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まじけれ」は「まじ」の已然形。「この世にいるはずもないが」。けれは助動詞の一部。

---

**Q62. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

庭の梅咲**けれ**ば、香に立つ。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「咲け」は四段「咲く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「咲いているので」。連用形「咲きけれ」と区別。

---

**Q63. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

雲間の月こそうれし**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「うれし」(シク活用形容詞)の已然形「うれしけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾。

---

**Q64. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

文書き付け**けれ**ど、出ださず。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「書き付け」は複合動詞「書き付く」の連用形。連用形+けれど過去「けり」の已然形。「書きつけたが」。

---

**Q65. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

風吹**けれ**ど、花散らず。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「吹け」は四段「吹く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「吹いているけれど」。直前がエ段。

---

**Q66. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

その有様こそゆゆし**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「ゆゆし」(シク活用形容詞)の已然形「ゆゆしけれ」。係助詞「こそ」の結び。けれは活用語尾で過去の意味はない。

---

**Q67. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

使ひ参り**ければ**、御覧ず。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「参り」は四段「参る」の連用形。連用形+ければで過去「けり」の已然形。「参上したので」。

---

**Q68. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

門開**ければ**、人入り来。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「開け」は四段「開く(自動詞)」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「開いているので」。連用形「開きけれ」と区別。

---

**Q69. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

かくこそあるべ**けれ**。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「べけれ」は「べし」の已然形。係助詞「こそ」の結び。「このようにあるべきだ」。けれは助動詞の一部。

---

**Q70. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

心ばへこそやさし**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「やさし」(シク活用形容詞)の已然形「やさしけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾。

---

**Q71. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

雪降り**ければ**、道見えず。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「降り」は四段「降る」の連用形。連用形+けれどで過去「けり」の已然形。「降ったので」。

---

**Q72. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

草深**けれ**ど、道はあり。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「深し」(ク活用形容詞)の已然形「深けれ」。已然形+ど。「深いけれど」。けれは活用語尾。Q60「深かりけれ」(過去)と区別。

---

**Q73. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

鳥羽鳴**けれ**ど、声幽かなり。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「鳴け」は四段「鳴く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「鳴いているけれど」。直前がエ段。

---

**Q74. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

あはれと聞こえ**けれ**ど。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「聞こえ」は下二段「聞こゆ」の連用形。連用形+けれどで過去「けり」の已然形。「申し上げたが」。

---

**Q75. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

夜のけしきこそもの恐ろし**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「恐ろし」(シク活用形容詞)の已然形「恐ろしけれ」。係助詞「こそ」の結び。けれは活用語尾。

---

**Q76. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

潮引**けれ**ば、洲あらはる。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「引け」は四段「引く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「潮が引いたので」。連用形「引きけれ」と区別。

---

**Q77. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

御供に候ひ**けれ**ば。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「候ひ」はう変「候ふ」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「お供に控えていたので」。

**Q78. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

げにこそ見るべ**けれ**。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「べけれ」は「べし」の已然形。「なるほど見るべきだ」。けれは助動詞の一部で、過去ではない。

**Q79. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

山の井浅**けれ**ど、影は映る。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「浅し」(ク活用形容詞)の已然形「浅けれ」。已然形+ど。「浅いけれど」。けれは活用語尾。

**Q80. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

月影差し入り**けれ**ば。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「差し入り」は複合動詞「差し入る」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「差し込んできたので」。

## 【第4部】入試レベル (Q81~Q100)

文脈の長い例文・紛らわしい対比で、3種類+例外を総合的に判断する。

**Q81. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

都を出でて、はや三年になり**にけれ**ば、面変はりせり。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「に」は完了「ぬ」の連用形、「けれ」は過去「けり」の已然形。「三年になってしまったので」。

**Q82. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

軒端の梅咲**けれ**ど、主はかへり来ず。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「咲け」は四段「咲く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「咲いているけれど」。連用形+けり「咲きけれ」と一字違い。

**Q83. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

人の心のつらきこと、世に類こそな**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「無し」(ク活用形容詞)の已然形「なけれ」。「類なし」の已然形で、文末の已然止め。けれは活用語尾。

**Q84. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

いとほしと思しめされ**ければ**、召して問はせ給ふ。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「思しめされ」は尊敬「思しめさる」の連用形。連用形+ければで過去「けり」の已然形。「おいたわしくお思いになったので」。

**Q85. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

この物語こそ、いみじう面白**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「面白し」(ク活用形容詞)の已然形「面白けれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾で過去の意味はない。

**Q86. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

風吹**ければ**、波おのづから立つ。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「吹け」は四段「吹く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「吹いているので」。連用形「吹きけれ」と区別。

**Q87. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

かかる目を見むとは、夢にも思は**まほしけれ**や。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まほしけれ」は「まほし」の已然形。「思っていたいことか（いやそうではない）」。けれは助動詞の一部。

---

**Q88. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

別れの悲しき、言ふ方なくこそ覚え**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「覚え」は下二段「覚ゆ」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「こそ」の結び。「思われたなあ」。

---

**Q89. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

親の諫め、いと畏かる**べけれ**ど、従はず。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「べけれ」は「べし」の已然形（「畏かるべけれ」の形）。「恐れ多いはずだが」。けれは助動詞の一部。

---

**Q90. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

言の葉の道こそ、なほ捨てがた**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「捨てがたし」（ク活用形容詞）の已然形「捨てがたけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾。

---

**Q91. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

御嶽に詣で着**ければ**、まつ拝み奉る。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「着け」は四段「着く（到着）」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「到着したので」。連用形「着きけれ」と区別。

---

**Q92. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

いみじう悲しと泣き**けれど**、かひもなし。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「泣き」は四段「泣く」の連用形。連用形+けれで過去「けり」の已然形。「泣いたが、かいもない」。

---

**Q93. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

心のうちこそ恥づかし**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「恥づかし」（シク活用形容詞）の已然形「恥づかしけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾で過去の意味はない。

---

**Q94. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

山風に紅葉散り敷き**ければ**、錦と見ゆ。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「散り敷き」は複合動詞「散り敷く」の連用形。連用形+ければで過去「けり」の已然形。「散り敷いたので」。

---

**Q95. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

幾日も行**ければ**、都いと遠くなりぬ。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「行け」は四段「行く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「(ずっと) 行ったので」。連用形「行きけれ」と区別。

---

**Q96. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

御返りこそ、いと心にく**けれ**。

**答え：**形容詞の已然形 **解説：**「心にくし」（ク活用形容詞）の已然形「心にくけれ」。「こそ」の結び。けれは活用語尾。

---

**Q97. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

かの人の情け、世に並ぶものなかり**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「なかり」は形容詞「無し」のかり活用連用形。連用形+ければで過去「けり」の已然形。「並ぶものもなかったなあ」。形容詞已然形「なけれ」と区別。

---

**Q98. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。**

ここに住むべきにもあらず、さりとて帰るべきにもあら**まじければ**。

**答え：**助動詞の一部 **解説：**「まじけれ」は「まじ」の已然形。「帰ることもできそうにないので」。これは助動詞の一部。

---

### Q99. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

霜白く置**けれ**ば、道もはるけし。

**答え：**(例外) 四段已然形+完了「り」の已然形 **解説：**「置け」は四段「置く」の已然形、「れ」は完了「り」の已然形。「霜が一面におりているので」。連用形「置きけれ」と区別。

---

### Q100. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

過ぎにし方を思へば、夢のごとくこそ覚え**けれ**。

**答え：**過去の助動詞「けり」の已然形 **解説：**「覚え」は下二段「覚ゆ」の連用形。連用形+けれて過去「けり」の已然形。係助詞「こそ」の結び。「夢のように思われたなあ」。

---

## 採点振り返り

- **基礎 (Q1~20) で落とした問題：**直前の一字 (イ段=連用形か、形容詞語幹か、べ・まじ・まほし・たしか) の確認をもう一度。
- **応用・入試 (例外D) で落とした問題：**「咲き**けれ** (連用+けり)」と「咲**けれ** (已然+完了り)」の一字違いを必ず確認。直前が **イ段なら過去のけり、エ段なら完了のり** が鉄則。
- **形容詞已然形 (B) と過去のけり (A) の混同：**「多**けれ** (形容詞)」と「多かり**けれ** (形容詞+過去のけり)」のように、カリ活用連用形+けりは過去。
- 間違えた問題は、例文の「**けれ**」の**直前一字** に印をつけて解き直すと定着します。